



数理・データサイエンス・AI教育プログラム

データサイエンス概論

プログラムの概要

プログラムの目的

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを、日常の生活や仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。

カリキュラム

「データサイエンス概論」（2単位）：必修

授業の概要

数理・データサイエンス・AIを実践するにあたって必要となる知識の概論および理論の基礎を学習する。オンデマンドコンテンツを活用しながら身近なトピックを中心に取あげ、数理・データサイエンス・AIの基礎と、その応用事例、社会との関わりについて学習する。

* 実施体制：共通教務委員会（プログラムの運営・点検・評価・改善）



学修成果

- 初年次に配当し、4年間における学修の基礎として数理・データサイエンス・AIに関する知識を位置付け。
- 全学的に必修科目として配置し、数理・データサイエンス・AIの基礎的知識を身に付けた人材を育成。



履修の促進

- 共通教務委員会で全学的プログラムとして検討・運営。
- 令和5年度より全学的に必修科目として配置し、全入学生が履修。



授業の評価

- WEBコンテンツ・e-ラーニング、LMS（学習管理システム）を活用。
- 学生による課題提出率、授業評価アンケートにおける履修満足度は高く、学修することの意義・楽しさを理解。